

平成29年度
学校評価報告書



黒部市立たかせ小学校

目 次

1	たかせ小学校 学校経営の方針	P1
2	学校アクションプラン計画 (学校の目標を重点化して学校改善を図るもの)	P2
3	学校アクションプラン結果／成果と今後の取組 (児童の自己評価結果/成果と今後の取組)	P3～5
4	学校評議員会記録（学校関係者評価）	P6～8
5	学校経営に関する保護者アンケート (学校での学習や生活、学校と家庭の連携他)		
	(1) 保護者アンケート	P9
	(2) 保護者アンケート集計結果	P10～11
6	教育活動の振り返り（内部評価）		
	(1) 1学期の反省を踏まえた2学期の重点事項 ・教務部会、生徒指導部会、保健部会	P12～14
	(2) 2学期の反省を踏まえた3学期の重点事項 ・教務部会、生徒指導部会、保健部会	P15～17
	(3) 3学期の反省を踏まえた次年度の重点事項 ・教務部会、生徒指導部会、保健部会	P18～20
	(4) 今年度の成果と次年度に向けた課題	P21～22

1 たかせ小学校 学校経営の方針

〈目指す学校像〉

歌声が響き合い、楽しくて夢が広がる学校
 子供たちにとって楽しい学校 ・ 教師にとっても楽しくやりがいがある学校

〈学校教育目標〉

素直な心とたくましい体で、進んで学ぼうとする子の育成
 【心】「きれいな心の子」……………感謝と思いやりの心をもつ子
 【知】「大きな夢もつ子」……………目標をもって進んで学ぶ子
 【体】「笑顔いっぱいの子」……………元気で強いからだをもつ子

きれいな心の子	大きな夢もつ子	笑顔いっぱいの子
----------------	----------------	-----------------

温かい人間関係づくり

- 授業や学級活動、縦割り班活動を通した温かい人間関係づくり
- あいさつ運動の推進
「笑顔であいさつ！」
※おはよう、こんにちは さようなら

分かる授業づくり

- 授業における基礎的・基本的な学習内容の確実な習得
- 安心して学習に取り組める授業での約束事の成立～学習規律の確立～

心身の健康づくり

- 「みんなでチャレンジ3015」の活用による体力づくり
※全校リレー、大縄跳び、朝の自主マラソン等
- 「元気にこここカード」を活用した、望ましい生活習慣の定着

↓↑(連携・協力)

(連携・協力) ↓↑

家庭で取り組みたいこと

家族のふれあい (ふれあいたっぷり)

- あいさつの声が響き、気持ちを伝え合える家庭にしましょう。
※おはよう、ただいま おかえり、おやすみ ありがとう、ごめん さい、よかったね
- 家族で決めた手伝いを継続的にさせましょう。
※家族の一員として、共に支え合う喜びをもたせましょう。
- 「よいこと」「悪いこと」の判断を教えましょう。

家庭学習の習慣づけ (勉強こつこつ)

- 家庭学習の習慣を身に付けさせましょう。
※「10分×学年+10分」を目標にして、机に向かうように支援しましょう。
- 決まった場所で、決まった時間に学習できるように学習環境を整えてあげましょう。
※低学年は子供が安心できる場所で学習させてあげましょう。

規則正しい生活リズム (けじめ、しっかり)

- 早寝、早起きができるように支援しましょう。
- バランスのよい3度の食事を食べさせましょう。
※特に朝食は、一日の生活の元気のエネルギーになります。また、学習意欲や心身の健康にも影響するといわれています。
- ゲームやテレビの視聴時間は、家族で約束事を決めましょう。
※自分で決めたことを守れる子にしよう。

◆アクションプラン

1 「あったか言葉」の推進

自分から進んで「あったか言葉」を使うことができる児童の達成率90%以上を目指す。

2 学習習慣の定着

学習習慣チェックカード(自己評価)の達成率90%以上を目指す。

3 望ましい生活習慣の育成

ゲーム使用・テレビ等の視聴時間についての「わが家のルール」を守っていく児童の達成率85%以上を目指す。

2 学校アクションプラン計画

重点項目	【心】「きれいな心の子」……………感謝と思いやりの心をもつ子
重点課題	◆「あったか言葉」の推進（好ましい人間関係づくり）
具体目標	自ら進んで「あったか言葉」を使うことができる児童の達成率90%以上
方 策	<ul style="list-style-type: none"> ・「あったか言葉」の一つであるあいさつを子供同士で増やしていけるよう、あいさつボランティアを推進したり、あいさつ運動を工夫したりする。 ・学級で増やしたい「あったか言葉」を学級で考え、全校に発表したり、掲示したりする。 ・「あったか言葉」に加えて、「あったかアクション（相手を思いやる行動）」のよさも意識できるよう、教職員からも積極的に声かけをする。

重点項目	【知】「大きな夢もつ子」……………目標をもって進んで学ぶ子
重点課題	◆ 学習習慣の定着（家庭学習の充実）
具体目標	学習習慣チェックカード（自己評価）の児童の達成率90%以上
方 策	<ul style="list-style-type: none"> ・「家庭学習の手引き」の内容をより具体的にしたり、パワーアップノート（自主学習ノート）を用いたりしながら、学校と家庭が連携し、学習の習慣化を図っていく。 ・「学年×10分+10分」の家庭学習の継続を目標にし、自分の取組の様子を振り返りながら「学習習慣チェックカード」を用いて自己評価を行う。 ・家庭学習の取組について紹介するコーナーを設け、互いの取組のよさを参考にしながら、見通しをもって取り組めるようにしていく。

重点項目	【体】「笑顔いっぱいの子」……………元気でたくましい体をもつ子
重点課題	◆ 望ましい生活習慣の育成
具体目標	ゲーム使用・テレビ等の視聴時間についての「わが家のルール」を守っていく児童の達成率85%以上
方 策	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週月曜日に実施する早寝、健康生活調べやゲーム・テレビの視聴についての「守ろう！わが家のルールウィーク」を実施して、望ましい生活習慣の定着を図る。 ・「みんなでチャレンジ3015」を活用したり、校内放送で呼びかけたりして、毎朝の自主マラソンや晴れた日の外遊びを奨励し、運動の日常化を図る。 ・「早寝・清潔検査」や「ゲンキッズ作戦」の結果を家庭と共有し連携しながら、健康な生活への意識を高める。

3 学校アクションプラン結果／成果と今後の取組

(1) 「あったか言葉」の推進 (児童の自己評価結果／成果と今後の取組)

重点項目	【心】「きれいな心の子」……………感謝と思いやりの心をもつ子																								
重点課題	◆「あったか言葉」の推進 (好ましい人間関係づくり)																								
具体目標	自ら進んで「あったか言葉」を使うことができる児童の達成率80%以上																								
方 策 (取組)	<ul style="list-style-type: none"> 各学級で増やしたい「あったか言葉」を考え、全校に発表したり提示したりする。 「あったか言葉」に加えて、「あったかアクション (相手を思いやる行動)」のよさも意識できるよう、人権集会で紹介したり、プロジェクト委員会が中心となって見つけた「あったかアクション」を全校に広めたりする。 																								
結 果	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="213 748 568 1012"> <p>【あったかポストの設置】</p> </div> <div data-bbox="603 748 999 1012"> <p>【あったか人権集会】</p> </div> <div data-bbox="1034 748 1394 1012"> <p>【あったか言葉カード】</p> </div> </div> <div style="margin-top: 20px;"> <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <caption>「あったか言葉」の全校の達成率</caption> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1学期 (A+B)</th> <th>2学期 (A+B)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td>85%</td> <td>80%</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>95%</td> <td>95%</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>90%</td> <td>90%</td> </tr> <tr> <td>4年</td> <td>95%</td> <td>95%</td> </tr> <tr> <td>5年</td> <td>90%</td> <td>90%</td> </tr> <tr> <td>6年</td> <td>90%</td> <td>90%</td> </tr> <tr> <td>全校</td> <td>94%</td> <td>95%</td> </tr> </tbody> </table> </div> <ul style="list-style-type: none"> 「あったか言葉」の全校の達成率 (A 毎日使うことができた + B 時々使うことができた) は、1学期は94%で、2学期は95%だった。また、A (毎日使うことができた) の全校の達成率は、2学期は5%上がり、50%であった。 	学年	1学期 (A+B)	2学期 (A+B)	1年	85%	80%	2年	95%	95%	3年	90%	90%	4年	95%	95%	5年	90%	90%	6年	90%	90%	全校	94%	95%
学年	1学期 (A+B)	2学期 (A+B)																							
1年	85%	80%																							
2年	95%	95%																							
3年	90%	90%																							
4年	95%	95%																							
5年	90%	90%																							
6年	90%	90%																							
全校	94%	95%																							
成 果 と 今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> 1学期に学級で増やしたい「あったか言葉」を考え、掲示物にまとめて教室や廊下に掲示することで、校内環境づくりにつながった。 2学期の人権集会では、「あったか言葉」や「あったかアクション」のよさを委員会で発表したり、「あったかすごろくゲーム」を縦割り班で楽しんだりするを通し、全校の心の交流を図ることができた。 3学期は「あったかポスト」を設置し、各学年で見つけた「あったかアクション」をカードに書いて紹介し合った。それにより、「あったかアクション」への意識を高めることができた。 「あったか言葉」と「あったかアクション」を年度当初から、並行して取り組んでいく工夫が必要である。 																								

(2) 学習習慣の定着

重点項目	【知】「大きな夢もつ子」……………目標をもって進んで学ぶ子																																
重点課題	◆ 学習習慣の定着 (家庭学習の充実)																																
具体目標	学習習慣チェックカード (自己評価) の児童の達成率90%以上																																
方 策 (取組)	<ul style="list-style-type: none"> ・「家庭学習の手引き」の内容をより具体的にしたり、パワーアップノート (自主学習ノート) を用いたりしながら、学校と家庭が連携し、学習の習慣化を図っていく。 ・「学年×10分+10分」の家庭学習の継続を目標にし、自分の取組の様子を振り返りながら「学習習慣チェックカード」を用いて自己評価を行う。 ・家庭学習の取組について紹介するコーナーを設け、互いの取組のよさを参考にしながら、見通しをもって取り組めるようにしていく。 																																
結 果	<p>・学年の目当ての時間家庭学習に取り組んでいる児童が、ほとんどの学年で目標の90%を超えている。また、学期が進むにつれて達成した児童の割合が大きくなっていった。家庭学習としての自主学習が習慣化しつつある。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>4年</th> <th>5年</th> <th>6年</th> <th>全校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1学期</td> <td>99%</td> <td>97%</td> <td>89%</td> <td>86%</td> <td>93%</td> <td>76%</td> <td>90%</td> </tr> <tr> <td>2学期</td> <td>99%</td> <td>96%</td> <td>97%</td> <td>87%</td> <td>93%</td> <td>90%</td> <td>93%</td> </tr> <tr> <td>3学期</td> <td>100%</td> <td>97%</td> <td>98%</td> <td>92%</td> <td>88%</td> <td>95%</td> <td>95%</td> </tr> </tbody> </table> 		1年	2年	3年	4年	5年	6年	全校	1学期	99%	97%	89%	86%	93%	76%	90%	2学期	99%	96%	97%	87%	93%	90%	93%	3学期	100%	97%	98%	92%	88%	95%	95%
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	全校																										
1学期	99%	97%	89%	86%	93%	76%	90%																										
2学期	99%	96%	97%	87%	93%	90%	93%																										
3学期	100%	97%	98%	92%	88%	95%	95%																										
成果と 今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・自主学習の「パワーアップノート」の取組は今年で3年目を迎え、子供たちの学習習慣の中にも定着が見られるようになってきた。 ・職員室前の「家庭学習パワーアップノート番付表」を掲示し、横綱に昇進した子供や、番付掲載率の高い学級をなどといった子供のがんばりをランチルームで紹介してきた。放送室横の掲示板には、取り組みに工夫や努力の跡が見られるノートをコピーし、掲示して紹介した。さらに、3学期には学年便りを通じて、各学年の家庭学習の手本となる取組を紹介した。これらの働きかけにより、児童は意欲をもって取り組み、進んでパワーアップノートに取り組もうとするようになった。 ・家庭学習番付の掲載者は193名である (257名中、3月22日現在)。 ・今後は、パワーアップノートの使い方については、調べ学習や作文など創意工夫を生かしたノートづくりも推奨していく必要がある。来年度の初頭に、おすすめのコンテンツを教師の方からも提案したり、今年度の工夫されているノートを随時紹介したりして、広めていきたい。 																																

(3) 望ましい生活習慣の定着

重点項目	【体】「笑顔いっぱいの子」……………元気でたくましい体をもつ子						
重点課題	◆ 望ましい生活習慣の育成						
具体目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲーム使用・テレビ等の視聴時間についての「わが家のルール」を守っていく児童の達成率85%以上 						
方 策 (取組)	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲーム・テレビの視聴についての「テレビ・ゲーム、動画守ろうわが家のルールウィーク」を実施して、望ましい生活習慣の定着を図る。その際、校区中学校と連携し、中学校の中間テストや期末テスト週間に合わせて取り組む。 ・毎週月曜日に実施する「早寝、健康生活調べ」や「ゲンキッズ作戦」の結果を家庭と共有し連携しながら、健康な生活への意識を高める。 ・学校保健委員会を開催し、長時間のテレビ視聴や動画、ゲーム機の使用が心身に及ぼす影響についての講演を聴き、メディアと上手に付き合うことの大切さに気付かせるようにする。 						
結 果	<p style="text-align: center;">わが家のルール達成率</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>1 学期</th> <th>2 学期</th> <th>3 学期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">80%</td> <td style="text-align: center;">83%</td> <td style="text-align: center;">92%</td> </tr> </tbody> </table>  <ul style="list-style-type: none"> ・子供たちの健康生活の向上とともに本校が勧める学力向上、「家庭学習の時間確保」のためにも、自分で時間をコントロールできる力を高めていく必要がある。そこで、「テレビ・ゲーム、動画守ろうわが家のルールウィーク」を校区中学校と連携し、中学校の中間テストや期末テスト週間に合わせて取り組んだ。その結果、たくさんの家庭の関心や協力を得られるようになったと思われる。しかし、休日の達成率は低くなりがちであり、2学期は目標達成率85%を下回った。そこで、3学期は学級懇談会による保護者への啓発や各学級での積極的な指導を進めた。その結果、3学期の目標達成率は92%となった。 ・学校保健委員会（10月）には、長時間のテレビ視聴や動画、ゲーム機の使用が脳に及ぼす影響（記憶力・集中力や体力低下、ストレスホルモンの過剰、睡眠障害、依存性）等の講演を聴き、メディアと上手に付き合うことが必要であることに気付くことができたと思われる。さらに、保健だよりでの啓発、学級懇談会での話合いを通して、保護者の理解も得られるようになってきた。 ・「早寝、健康生活調べ」の学級ごとの結果を分かりやすく全校に知らせた。「ゲンキッズ作戦」の結果については、よい点や改善点について保健だよりで保護者に知らせた。これらの取組により、健康な生活習慣を築いていこうとする子供や保護者の意識を高めている。 	1 学期	2 学期	3 学期	80%	83%	92%
1 学期	2 学期	3 学期					
80%	83%	92%					
成 果 と 今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・「テレビ・ゲーム、動画の視聴」では、6月と比べると、12月は、時間に気を付けている子供が増えた。しかし、高学年はゲームばかりでなく動画視聴もあり、生活習慣が崩れがちになる子供もいる。これに対して、家庭への啓蒙、学級での指導に力を入れた結果、達成率が大きく上がった。 ・これからは、チェック週間を問わず、毎日の良い習慣となるよう指導することが必要である。 						

4 学校評議員会記録（学校関係者評価）

（1）第1回評議員会

日時：平成29年7月11日（火）、場所：たかせ小学校 校長室

・：評議員 ○：学校

【経営方針の共通理解について】

- ・校長の学校経営方針は、教職員に浸透しているのか。事業所の経営方針を従業員に浸透させるのは難しいという自分の経験から、少し気になった。
- 校長として2年目になるため、昨年より意識してくれている。

【望ましい教員の姿について】

- ・先生が生き生きと楽しくしていると、子供も生き生きと楽しく過ごせる。子供の言葉も多くなる。
- 出来ていないところが気になりがちだが、担任には子供の出来ているところに目を向けるよう指導している。このようにすることで、担任も子供も気持ち楽になる。

【「たかせ小ガイド」について】

- ・「たかせ小ガイド」は各家庭に渡してあるのか。振興会にもいただきたい。
- ・内容は見ていて分かりやすい。何か気になったときに見るのに都合がよい。
- 各家庭に配布している。きちんと保存してもらいたいと考えている。年間計画を入れたり、写真を増やしたりしていきたい。

【新学習指導要領に伴う変化について】

- ・道徳の時間は増えたのか。
- 道徳は教科となる。評価が伴ってくるし、いろいろな話が載っているものを「資料」と言っていたが、これからは「教科書」となる。
- 時数が増えるのは黒部市の英会話科である。次年度は5、6年生で年間50時間の授業を実施することになるが、この時間を生み出すのが大変である。
- ・英語については、実際に外国人と話しながら学習できるところがよい。
- ・できる子供はよいが、落ちこぼれがないようにしてほしい。
- ・習熟度の差も気になるところである。
- ・小学校の負担が大きい。子供たちの負担も大きくなるのではないかと心配である。解決するには行政の力が必要だとは思うが。
- 次年度から指導時数を増やし、内容については2年後から完全実施となる。
- 英語嫌いにならないように、学習方法等を工夫して進めていきたい。

【交通安全について】

- ・自転車利用のきまりは、子供たちが皆守っているか。小さい道で飛び出しているのを見たことがある。
- ・学童保育でも、子供たちの注意力が気になるときがある。怪我をすることがあった。
- 交通安全を始めとして、安全指導は各学級の終学活で毎日実施している。学校内外の

子供たちの実態を把握しながら、さらに、安全指導を充実させていきたい。

【児童数減少に伴う幼保小や地域との連携について】

- 子供の人数が少なくなっている。地区の交流活動が難しくなっている。
 - 保育所では東布施の人数が少なく、年齢活動をしにくいいため、田家保育所との間で連携している。今後、ますます連携が大切になると思われる。小学校との連携も重要なので、学校の先生が保育園に保育の様子や子供の様子を見に来てほしい。
- 教員と保育士との連携、学校と保育所との連携を充実させていきたい。特別支援教育コーディネーターや教頭だけが保育園児の様子を見に行くだけでなく、特に、下学年担任も園児の様子や保育の様子を見に行くようにしていきたい。

【子供たちのマナーについて】

- 保育所に小学校の3、4年生の子供が遊びに来ることがあるが、慣れてくると挨拶や目的がはっきりしなくなる傾向がある。
- 迷惑をかけないように指導していく。

【多忙化や働き方改革について】

- 教員の多忙が言われているが、何に時間をとられているのか？本来の教員の仕事とそうでないものを見えるようにすると対策も考えられるのではないか。
- 様々な問題があり、教員のストレスが大きい。授業にしても、教員の数が限られるので、持ち時数も多い。
- 通常のルーティン化しているものはできる。そのほかのものが入ってくるとストレスを感じるものである。このストレスが子供たちに影響を及ぼす。
 - 親学びが言われている。親も話し合っ自分たちの責任について気付いていけるようにしたいものである。

(2) 第2回評議員会

日時：平成30年2月23日（金）、場所：たかせ小学校 校長室

•：評議員 ○：学校

【アクションプランの結果報告について】

- アクションプランの結果報告について、数値化しているところが分かりやすくよい。
- 望ましい生活習慣について、子供たちはスポーツ少年団活動や習い事等、忙しい中頑張っているのではないか。

○学習については、宿題を含めて学年の家庭学習時間は「学年の数×10分+10分」を目指すように求めている。どの子供も達成を目指して頑張っている。

一方、質問紙調査によって、夢をもっている子供が少ないという結果が出た。キャリア教育に一層取り組んでいきたい。

- 中学生になると、さらに個人差が大きくなる。

○自主学習ノートの取り組みで、目標を達成した子供の番付表を出しているが、学級によって違いがある。

- ・学習等について、子供の得意・不得意がある。得意なところ、苦手なところを伸ばすような取り組みはどうしているのか。

○学習の目当ての確認と振り返りをどの授業でも確実にを行い、何が身に付いたのか、何が身に付かなかったのかを教員が把握し、次の指導に生かしている。子供自身も何が分かったりできたりして、何が分からないのかできなかったのかを把握している。分かった、できたという経験を積み重ねることで、子供たちは得意・苦手にかかわらず学習への取組意欲を高めていくと考える。このような中で子供たちは力を付けていくのではないか。

【子供の健康状態について】

- ・眼鏡の必要な子供は増えているのか、減っているのか？

○全体的には視力が若干落ちてきている。眼鏡の使用数も増えている。

[視力 0.9 以下：H28 年度 36.1 %、H29 年度 36.3 %、眼鏡・コンタクト使用：H28 年度 39名、H29 年度 55名]

【あったかアクションの推進について】

- ・「あったかアクション」について、全校で取り組んでいることは何か。

○2学期に人権集会で、児童会のプロジェクト委員会が「あったかアクション」の具体例を紹介し、「あったかアクション」を全校に広めようということを確認した。3学期は、全校で、子供たちが見つけた「あったかアクション」をカードに書いて「あったかポスト」に入れてもらい、その中からプロジェクト委員会が放送で紹介してきた。

【望ましい生活習慣の育成について】

- ・家庭での会話が少ないように思う。学童では、子供たちはよく話している。
- ・休日の家庭学習について、保護者や児童の意識が高まらないとあるが、学童で宿題をして、家では見てもらっていないから、家庭で意識を高める働きが見られない。親の責任もあるだろう。

○学童での子供たちの様子について、学童を利用している子供の担任が、学童に顔を出して、子供の様子を見るようにしたい。

○土・日の家庭学習への取り組みについて、子供たちには自分の取組を振り返らせながら、また、学校では課題の出し方を工夫しながら毎日の継続的な学習習慣を形成していくよう取り組んでいく。

【子供たちの挨拶について】

- ・地域での子供たちの様子を見ると、大人が困るような言葉を口にするときがある。子供は大人のまねをしていく面があるので、大人も気を付けたい。

- ・杉並区で頻繁に空き巣があったとき、地域で挨拶をよくするようにしていいたらピタリと空き巣被害がなくなったという例がある。挨拶は防犯にも役立つ。

○児童会を中心に、子供たち自らがみんなで挨拶を盛んにしようという動きをするように指導していきたい。

5 学校経営に関する保護者アンケート

(1) 保護者アンケート

平成29年11月27日

保護者 各位

黒部市立たかせ小学校
校長 宮崎新悟

学校経営についてのアンケートのお願い

日頃、本校の教育活動にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。本校では、目指す学校像を「歌声が響き合い、楽しくて 夢が広がる学校」とし、「きれいな心の子」「大きな夢もつ子」「笑顔いっぱいの子」を育てるために、次のようなことに力を入れて取り組んでいます。

- 1 アクションプランの設定…「あったか言葉の推進・家庭学習の定着・望ましい生活習慣の育成」
- 2 今年度の取組の重点
 - (1) 家庭や地域社会との連携(学校だより、学年だより、たかせ小ガイド2017、ホームページなど)
 - (2) 教育・安全情報メールの積極的活用
 - (3) 健やかな体づくり・望ましい生活習慣の確立
 - (4) 異学年交流縦割り活動の充実(全校リレー、大縄跳び、縦割り給食、縦割り掃除など)
 - (5) 家庭学習の習慣化(10分×学年+10分以上)と家庭学習ノートの作成・活用
 - (6) 教師の授業力向上に向けての研修の充実(学力向上拠点校、外部講師の招聘など)

上記の目標を達成するために教育活動に関するアンケートを実施し、今後の教育活動に生かすとともに、地域に関かれ、信頼される学校づくりを推進したいと考えています。どうぞ、ご協力をお願いいたします。

() 学年保護者

- 1 以下の各設問のあてはまるものに○を付けてください。

【A:よくあてはまる、 B:ややあてはまる、 C:あまりあてはまらない、 D:全くあてはまらない】

内 容		A	B	C	D
1	学校は運営方針を分かりやすく伝えている。【取組の重点(1)(2)】				
(具体的取組) ・たかせ小ガイド2017 ・ホームページ ・学校だより ・学年だより ・学年、学級懇談会 ・教育・安全情報メール					
2	学校は望ましい生活習慣について指導している。【取組の重点(3)】				
(具体的取組) ・「わが家のルール」チェックカード ・あいさつ運動週間 ・あったか言葉の推進 ・学習習慣チェックデー ・生活健康チェック(月曜日) ・とやまゲンキッズ作戦 ・歯みがきタイム ・マラソンタイム(水曜日) ・朝の自主マラソン					
3	学校は子供たちが楽しく過ごせる学校づくりに努めている。【取組の重点(4)】				
(具体的取組) ・異学年交流縦割り活動(全校リレー、大縄跳び、縦割り給食、縦割り掃除、集団登校) ・担任とのふれあい週間(面談による教育相談) ・フレンドリー集会(児童集会)の充実 ・「学校からっぽタイム」(火曜日の大休憩にグラウンドで楽しく活動する)					
4	学校は学習しやすい環境、活動が分かる環境整備に努めている。【取組の重点(6)】				
(具体的取組) ・空調設備の整備 ・書画カメラやプロジェクターの活用(全学級に配置) ・教室や廊下の掲示板の活用(シンプルで落ち着いた掲示に配慮) ・集会活動の記録の蓄積(大判紙に整理して一階廊下に掲示)					
5	学校は分かりやすい授業を通して基礎・基本を定着させ、学力を高めようとしている。【取組の重点(5)(6)】				
(具体的取組) ・教師の研究授業の推進(外部講師の招聘、互見授業、若手教員研修会) ・読書タイム(朝活動で10分間実施。木曜以外) ・漢字・計算大会 ・家庭学習の習慣化(10分×学年+10分以上) ・家庭学習ノート(ハワアップノート)の推進					

- 2 その他、ご意見やお子様のごことでお気づきの点などがありましたら、お書きください。

[]

ご協力ありがとうございました。この用紙を封筒に入れ、12月1日(金)までに、担任へ提出してください。

(2) 保護者アンケート集計結果

H29.1.10 (学校だより11号)

12月に実施しました「学校経営についてのアンケート」へのご協力、ありがとうございました。約99%の保護者の皆様よりご回答をいただきました。設問に対して、A (よくあてはまる) 及び B (ややあてはまる) と回答された割合の合計が、調査した5項目全てにおいて、今年度も目標に掲げていた90%を上回る結果となり、教職員一同、これからも子供たちのために頑張りたいという意欲を高めているところです。以下、アンケート結果の詳細並びに考察をご報告いたします。

【集計結果】 【A:よくあてはまる、 B:ややあてはまる、 C:あまりあてはまらない、 D:全くあてはまらない】

	内 容	A	B	C	D	A+B	H28
1	学校は運営方針を分かりやすく伝えている。 ・たかせ小ガイド2017・学校・学年だより・安全メール 等	45.3 %	51.6 %	2.3 %	0.8 %	96.9 -1.0 %	97.9 %
2	学校は望ましい生活習慣について指導している。 ・あいさつ運動・あったか言葉の推進・学習習慣チェックデー 等	49.2 %	49.2 %	1.6 %	0.0 %	98.4 -1.2 %	99.6 %
3	学校は子供たちが楽しく過ごせる学校づくりに努めている。 ・異学年交流縦割り活動・担任とのふれあい週間 等	49.6 %	46.5 %	3.9 %	0.0 %	96.1 -1.3 %	97.4 %
4	学校は学習しやすい環境、子供たちの活動が分かる環境整備に努めている。 ・教室や廊下の掲示板の活用 等	38.4 %	56.5 %	5.1 %	0.0 %	94.9 -0.1 %	95.0 %
5	学校は分かりやすい授業を通して基礎・基本を定着させ、学力を高めようとしている。 ・漢字計算大会・家庭学習の習慣化 等	37.8 %	55.1 %	6.3 %	0.8 %	92.9 -0.8 %	93.7 %

【考察1：5項目について】

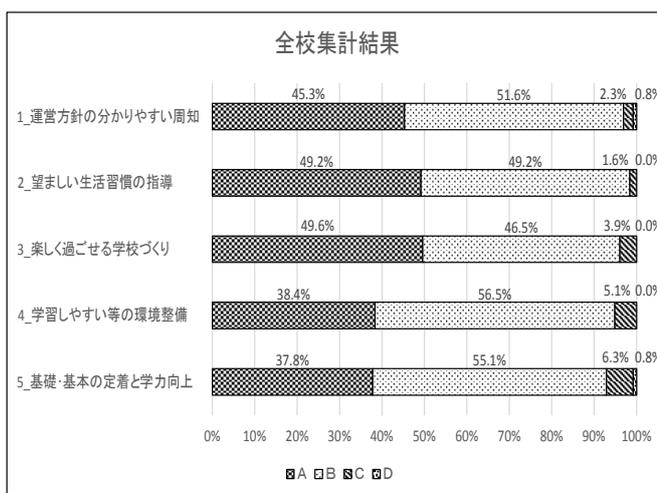
◆5項目とも、肯定的(「Aよくあてはまる」「Bややあてはまる」)に回答された割合の合計が、目標に掲げていた90%を上回り、良好な結果となりました。ただし、5項目とも昨年度の結果を下回り、また、「Aよくあてはまる」の割合が50%に満たないことから、今後も改善に努めたいと考えます。

◆「1 学校は運営方針を分かりやすく伝えている」の項目に対して肯定的に回答された割合の合計は96.9%(H28/97.9%)でした。今後も、運営方針を積極的に伝えていきたいと考えます。また、ホームページをさらに充実させるとともに、教育・安全情報メールの効果的な活用、運用に努めたいと考えます。

◆「2 学校は望ましい生活習慣について指導している」の項目に対して肯定的に回答された割合の合計は98.4%(H28/99.6%)で、5項目の中で最も高い結果となりました。子供たちの生活習慣をよりよいものにするためには、学校と保護者の皆様との連携・協力が不可欠と考えます。これからも保護者の皆様と気持ちを一つにして、すてきな「たかせの子」の育成を目指して、教職員一同、頑張りたいと思います。

◆「3 学校は子供たちが楽しく過ごせる学校づくりに努めている」の項目に対して肯定的に回答された割合の合計は96.1%(H28/97.4%)でした。今後も、「歌声が響き合い、楽しくて、夢が広がる学校」を目指し、異学年交流縦割り活動などを充実させたいと考えます。

◆「4 学校は学習しやすい環境、子供たちの活動が分かる環境整備に努めている」の項目に対して肯定的に回答された割合の合計は94.9%(H28/95.0%)でした。限られたスペースや空間を有効に活用しながら、今後も、子供たちのためにできることを考え、様々な工夫に取り組みたいと思います。



- ◆「5 学校は分かりやすい授業を通して基礎・基本を定着させ、学力を高めようとしている」の項目に対して肯定的に回答された割合の合計は92.9%(H28/93.7%)でした。目標としている90%は超えてはいますが、昨年度と同様に5項目の内では最も低い結果となりました。今年度は、学力向上市町村教育委員会プラン研究委託事業の指定を受け、子供たちが「分かった」「できた」というような手応えをもって学習できるように授業改善に努めてきています。これまでの取り組みの成果と課題を明らかにしながら、3学期にも取り組みを継続させたいと考えています。

【考察2：自由記述について】

学校運営に関して、好意的なご意見をたくさんいただき、意を強くしているところです。また、健康・安全、学習、施設設備等に関して幾つかの要望もいただきました。ここでは、いただきました要望に対しまして、Q&Aの形で回答させていただきます。

〈健康・安全〉

- ◆Q1：あまりにも雨がひどい時など、登校班で登校させるのが心配な日などは、安全メールで「各自で連れて行く」や「登校班はありません」など、学校から連絡してほしい。
- A:ご心配、ありがとうございます。学校からの連絡が無い場合は、基本的には登校班で登校します。ただし、心配だと感じられた際には、ご家庭で学校まで送られても結構です。その際には、必ず、登校班への連絡をお願いします。学校では、登校に危険が生じると予測したり、判断したりした場合に、状況に応じて「安全メール」を配信いたします。
- ◆Q2：5・6年生は「10時に寝ればいい」と学校で決まっていると子供が言っていますが、10時には熟睡してほしいため、もう少し早い時間でもいいと思います。
- A:学校では子供たちに対し「遅くとも10時には寝ましょう」という指導をしています。この時間は、あくまでも目安です。十分な睡眠が取れるよう、ご家庭の状況に合わせてお子さんと話し合ってください。

〈学校生活〉

- ◆Q3：以前に比べて、少し決まり事が多いように感じます。
- のびのびとした「たかせ小らしさ」がなくなった気がします。
- A:本校では学力向上を目指し、日々の授業で「学習規律」を整えるよう取り組んでいます。また、情報機器等の急速な普及に対し、ネットトラブル等に巻き込まれないような指導がこれまで以上に必要になっています。そのような状況から、決まり事が多くなっているのかもしれませんが、自分自身の安全を守ること、自分自身を高めることに必要なことは何なのかを子供たちと一緒に確認していきたいと思えます。

〈学習指導〉

- ◆Q4：前半の授業の遅れを後半で取り戻そうと、駆け足で進めるのはやめていただきたい。
- A:授業は年間指導計画を基に計画的に進めなければいけません。今後、適切でなかった部分につきましては、各学年の2名の担任が確認し合ったり、教務主任を中心に教務部で確認したりして、計画的に授業が行われるように改善していきたいと思えます。
- ◆Q5：子供たちの気持ちを大切にしたい言葉がけをしてほしい
- A:ご心配をおかけしました。まずは、出来ていることを称賛し、次に、意欲を引き出すような言葉がけや、課題や目標を達成できるようなきめ細かな指導に努めることを、教職員一同、再確認したいと思えます。また、教師としての資質向上を目指して研修等に取り組んでいきたいと思えます。
- ◆Q6：家庭での自主学習に取り組む意識がなかなか高まりません。
- A:家庭学習番付表に見られるように、学校全体では、家庭学習に対する子供たちの意識は高まっているように思えます。家庭学習は、やらされているという気持ちでは、なかなか意欲は高まりません。家庭学習をすることで、自分にとって、どのように良いことがあるのかを自覚できるようにすることが大切です。学校では、宿題が出されても、出されなくても、自主学習をする子供たちを育てたいと思っています。宿題をするのは当たり前という発想です。ですから、「宿題は終わったの?」という問いかけではなく、ぜひ、「自主学習は何をしたの?」という問いかけをするように心がけていただきますよう、お願いします。

〈その他〉

- ◆Q7：月の予定や学級懇談会の案内等は早めに出していただくと有り難いです。
- A:出来るだけ早く出すように改善したいと思えます。なお、平成29年度のおおまかな予定は、「たかせ小ガイド2017」のp9～p10に掲載してあります。また、学校だよりや学級だよりをご覧くださいようお願いします。
- ◆Q8：子供の成長のアルバムをつくっているの、学校での様子の写真がほしいです。
- A:本校では、4月当初に、学校だよりやホームページ、PTA広報誌に写真を掲載することについて、保護者の方から承諾書をいただいています。個人情報保護の観点から、学校で写した写真をそれら以外に使用することについては難しいと考えます。どうぞ、ご理解ください。(黒部市内の他の小学校も、同じ考えです)

6 教育活動の振り返り（内部評価）

(1) 1学期の反省を踏まえた2学期の重点事項

H29. 8. 30

【教務部会】

重点課題	重点的な取り組み
<p>★アクションプラン 「学習習慣チェック」達成90%</p>	<p>○パワーアップノート（Pノート）の活用を呼びかけ、番付にも掲示してきた。学期後半は、番付掲載を目当てに取り組む子供が増えてきている。 ○よい学習をしているPノートを紹介し、自分もできそうだ、やってみようとする見通しをもたせ、意欲を高めていく。 ○最低ラインとして1学期に1冊を目当てとしたが、達成できなかった子供が97名いる。(37.5%)なかなか取り組めない子供への指導と共に、学級、学年による意識付けが必要である。 ○「学習習慣チェック」では、7月の時点で「学習開始時のあいさつ」「指名時の返事」の項目における達成率がすでに95%以上となっている。子供の実態に即した目当てを設定することが必要である。</p>
<p>教育課程</p>	<p>○朝の学習タイム（月曜）等を利用し、漢字や計算の学習に取り組む時間を確保できている。今後はチャレンジテストに向けた学習にも活用する。 ※1学期は2～6年の標準授業時数を1週分少なくしてしまった。当該学年は2学期14週、3学期9週で計算しますので、過不足がないように配慮して進めて下さい。</p>
<p>学習指導計画</p>	<p>○「話す・聞く・書く名人」等の教室掲示を整え、担任や指導者にも意識してもらおう。 ○実態に応じ、「話す・聞く・書く名人」等の活動を取り入れる。</p>
<p>道徳教育</p>	<p>○道徳ファイルを活用し、自分の考えを書くこと、意見を伝えることについて意識・意欲をもたせることができている。子供たちにも満足感が見られる。今後も活用を続ける。</p>
<p>キャリア教育</p>	<p>○校外学習では、その場所で仕事をされる方に注目するようにし、将来仕事に就く際の参考となっている。今後も継続していく。 ○人と接するための基本である挨拶、話し方等について、普段から意識して活動させる。</p>
<p>情報教育</p>	<p>○学年の発達段階に応じた指導を行っている。今後も続けていく。 ○道徳の最後の時間に、チェーンメールやラインの事例を取りあげ、モラルについての講習をしたらどうか。</p>
<p>図書館教育</p>	<p>○読み聞かせは、国語の学習に関連のあるものを読んでいただけるように計画し、図書館司書と打合せをする。</p>
<p>英会話科 国際理解教育</p>	<p>○打合せの時間を十分確保する。 ○外国語や文化が出てきたときに、日本との違いを意識させ、互いの国の文化や考え方について理解できるようにしていく。</p>
<p>特別支援教育</p>	<p>○新たに就学指導の対象になった子供について、共通理解を図る。 保護者面談・小委員会を実施、個別の指導計画作成を行い、2学期が始まったらすぐに支援が行えるように体制を整える。</p>
<p>学習環境</p>	<p>○教室の掲示物の共通理解（市民憲章、たかせ小学校の目標、学習習慣チェック、時間割、校時運行表）を行う。</p>
<p>研修</p>	<p>○若手教員が意欲的に取り組んでいる。授業をする教員にアドバイスする様子も見られる。外部から講師を招聘して指導助言をしていただくやり方は、専門的な知識を身に付けることができ有意義であった。今後は支援型訪問研修とも重なってくるため、計画的に指導計画を作成していく。</p>

【生徒指導部会】

重点課題	重点的な取り組み
<p>★アクションプラン</p> <p>☆かがやきプロジェクト</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期の「あったか言葉」ふり返しカードの集計結果は、A+Bで94%であった。「あったか言葉」は、どの学年においても大切なものと意識されているといえる。2学期も、90%以上を保ち、「毎日使うことができる子（A評価）」を50%以上に増やすことを目標にしたい。 ○帰りの会での振り返りの工夫 ○校内の「あったか言葉」掲示物の工夫 廊下や階段等 ○「あったかアクション」の紹介（ランチルームで委員会や先生から） ○人権教室（11月）人権集会（12月）の実施
<p>挨拶</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期は、1年生を中心とした低学年の挨拶が特によかった。集団登校では、先頭の班長の子供がよい挨拶ができると、他の子供もよい影響を受け挨拶ができていのように感じた。 ○挨拶ボランティアの推進（自主的なものからスタートし、可能なら、学年単位へと発展させることも考える。） ○挨拶名人（あいさつ運動で見つけた名人）、あいさつ月間MVPの発表の継続 ○来校したお客さんへの挨拶指導
<p>生徒指導</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・トラブル等があった際の報告、連絡、相談体制は確立されており、組織的に対応はできている。しかし、その後の全体への共通理解に課題があったと思う。 ○指導経過、指導後の全体への連絡、共通理解（内容に応じて） ○ふれあい週間の実施（10月）・保護者アンケートの実施（11月） ○保護者への対応研修会の実施 ○不登校児童、気になる子供に配慮した組織的な対応、スクールカウンセラーとの連携
<p>安全指導</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○交通安全指導の強化、徹底（事故がないように） ○スクールバスのマナー指導 定期的の下校便にも先生が乗車し指導する。 ※シートベルト指導の必要性の検討 ○防犯パトロール隊への配慮 集団下校時等 ○走りやすい時間の重点指導（プロジェクト委員会、生徒指導等の見回り） ※給食後に教室に戻る時 ※歯みがきタイムが終わって体育館に向かう時 ※休み時間が終わり、掃除に向かう時 等
<p>児童活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ☆フレンドリー集会の充実（かがやきプロジェクト） ※掲示物の作成を継続する。 ※学級や学年で全校に発表したいことがあれば、この時間を活用できるようにする。 ○委員会の放送の精選 ※曜日によってかたよがないように、1学期の見直しを図り、バランスを考える。 ※放送指導 話す指導（委員会担当者を中心に） 聞く指導（必要に応じ継続的に）
<p>人権教育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○アクションプランの内容参照 ○教職員の人権チェック表の活用
<p>教育相談</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ふれ合い週間の実施（10月に実施） ○個別懇談会の充実（12月） ○特別支援コーディネーターや、養護教諭、生徒指導部と連携を図りながら、必要に応じて小委員会や懇談会を実施したり、外部の専門機関と連携したして教育相談を進める。

【保健安全部会】

重点課題	重点的な取り組み
<p>★アクションプラン</p> <p>望ましい生活習慣の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「テレビ・ゲームわが家のルールチェック」は、目当てが甘い子供がいるという昨年の反省から、提示されたルールの中から親子で相談して選び、それを意識して取り組んだ。5月は達成率72%であったが、家庭の見守りの向上や担任の指導により6月の達成率は87%に上昇した。達成できた日が少ない児童には、個別に指導していく。 チェックカードの感想などから、良い取組を保健便りなどで知らせ、親への啓発をしていく。
<p>体力づくり チャレンジ 3015の活用</p> <p>朝のランニング 業間のマラソン 等</p> <p>体育科年間 指導計画</p>	<ul style="list-style-type: none"> スポーツテストが計画通りスムーズに実施することができた。 朝マラソンには、自主的に取り組んでいる。 今年度、3015の用紙の配布が大変遅かった。来年からはコピーを印刷して開始を早め、意欲化を図る。 全校リレーの実施回数がある程度確保することができた。しかし、終了時刻が延び、1限目に食い込むことが多かった。 業間のマラソンは、1学期でできなかった。運動会後の27日（水）から、中距離走記録会に向け、10時15分にスタートできるように準備をする。 百メートル走記録会は、20日（水）に実施できるように計画・実施する。（100Mを正しく明示しておく。）→9月8日（金）までに実施
<p>給食</p>	<ul style="list-style-type: none"> 昨年に比べ、残食が多い。各グループでの配り切りを原則とする。2学期の給食計画会で指導する。（一人一人が少しずつ、量を増やしていく。） 入室してから、すぐに席へ着かず、ふらふら出歩いたり、おしゃべりが多い。さらに、盛られた給食の量の加減に時間を要している。それ故、食べる時間が十分確保できていない。（各教室で、ランチルームに入室したら黙って座るように指導する。） 雑巾、台ふきは、使ったらそのまま洗濯機に入れるのではなく、必ずごみをごみ箱に落とし、一度水洗いしてから洗濯機に入れる。 配膳指導の担当者は、片付け時には、残って食べている子供の指導、食事テーブルの後始末の見届け、食器返却の見届けを確実にを行う。
<p>清掃</p>	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度からの掃除音楽が子供たちにも浸透し、時間いっぱい清掃活動ができている所が多い。しかし、音楽が終わっていないのにリーダーが反省会をし、早く終了する所もあるようである。2学期は、音楽終了まで清掃活動ができるよう、指導を継続していく。 毎週金曜日は、水拭きをして、砂ぼこりを拭き取る。 9月29日（金）清掃計画会実施予定。清掃メンバーの確認をする時間を取るために、早めに名簿を作成し、メンバーの変更を検討できるようにする。 清掃後の手洗いを徹底する。
<p>保健</p>	<ul style="list-style-type: none"> けがは、5月がピークで、だんだん減ってきている。あらゆる場で危険予知能力を高めていく。 保健室への入室は、本当に必要な人のみであることを各教室で再確認する。 運動会練習での暑さ対策が必要（安全帽をかぶる。日陰で休憩。水分・塩分の補給。タオルの持参） 学校保健委員会は、学習公開デー（10/18）に実施。テーマはゲーム脳。

(2) 2学期の反省を踏まえた3学期の重点事項

H29. 12. 22

【教務部会】

重点課題	重点的な取り組み
<p>★アクションプラン 「学習習慣チェック」達成 90%</p>	<p>○家庭学習番付の掲載者は124名。ランチルームで紹介し、目当てをもたせている。番付外の子供への働きかけが必要。冬休みに奨励する。 ○OPノート紹介をこまめにしていきたい。 ○「学習習慣チェック」では、ほとんどの項目で95%を超えている。自己評価の甘い児童がいる。きちんとした姿勢になっていなくても挨拶をすることもある。よい姿勢になるまでしっかり待つことが必要。</p>
<p>教育課程</p>	<p>○研修のある日は朝の時間帯に連絡帳を書くことで時数を確保した。 ○時間割通りに実施すると、標準時数に対し過不足が出ることがある。常に標準授業時数を念頭に置いて授業を実施する。特に交換授業。 ○時数や出席簿を学期末だけの提出にすると、学期始めの詳細を忘れていることがある。時数や出席簿は毎月末に出すようにする。</p>
<p>学習指導計画</p>	<p>○子供が発表するときに、「話す・聞く・書く名人」の掲示物を指さして意識付ける。 ○「だから」「しかし」などの「つなぎ言葉カード」を高学年で試行活用。掲示することで、これらの言葉を使って書いたり話したりしようとする意識が高まった。今後は低学年用に「〇〇が」（主語）「～した」（述語）や「始め」「終わり」などのカードも活用していきたい。</p>
<p>道徳教育</p>	<p>○ファイルを活用することで記録が蓄積され、子供たちにも充実感が見られる。振り返りの言葉が「感想」から「分かったこと」に変更になった。</p>
<p>キャリア教育</p>	<p>○校外学習では、相手を意識した話し方（敬語など）をすることができた。 ○保護者に協力してもらい、仕事について教えてもらう機会があってもよい。</p>
<p>情報教育</p>	<p>○技能面の向上については、講師を呼んで、学年の発達段階に応じた講話をしてもらえるとよい。 ○ネット利用上のマナー、ネットトラブルやいじめについて指導を続ける。</p>
<p>図書館教育</p>	<p>○学級文庫の入れ替えは、学委員会の時間に図書委員が行ったが、全学級分追いつかないので、上学年は本を各学級で入れ替える。各自が読みたい（学級文庫に入れておきたい）本を図書室から持ってきて、置いておく。時々同学年同士で本を入れ替える。</p>
<p>英会話科 国際理解教育</p>	<p>○遠足では外国人観光客に進んで話しかけていた。（1学期） ○給食時のハッピーイングリッシュの時間は、ALTの個人的な質問ではなく、アメリカの文化や生活について質問するように指導する。</p>
<p>特別支援教育</p>	<p>○校内委員会（通常級に在籍する、特別に支援の必要な子供について）を開き、共通理解を図る。</p>
<p>学習環境</p>	<p>特になし</p>
<p>研修</p>	<p>○外部講師を招聘した研究授業、事後研修会により、授業の進め方や教材研究の仕方等、なかなか学べないことを多く学ぶことができ、充実した研修となった。 ○3学期は紀要の作成あり。計画に従い、遅くならないように進める。学力向上の視点をもって。</p>

【生徒指導部会】

重点課題	重点的な取り組み
★アクションプラン	<ul style="list-style-type: none"> • 「あったか言葉」の全校の達成率（A 毎日使うことができた+B 時々使うことができた）は、1学期より1%上がり、95%だった。Aの達成率も、2学期は5%上がり、50%であった。 • 2学期のあったか人権集会では、あったかすごろく等を通し、他学年との心の交流を図ることができた。3学期は、廊下に「あったか言葉ポスト」を設置し、「あったかカード」を通して全校で「あったか言葉」を伝え合う雰囲気づくりに努める。 • 2学期のあったか人権集会で意識付けた「あったかアクション」を教師やプロジェクト委員会が積極的に見付け、学級や全校に広める。
挨拶	<ul style="list-style-type: none"> • 総合的な学習と関連して、4年生や6年生で挨拶ボランティアを行う子供たちの姿が見られた。3学期は、そのような子供たちをプロジェクト委員会が放送で全校に広めることで、自主的な挨拶運動の輪を広めていきたい。 • 生徒指導部の先生が中心となって来客に対する挨拶指導を行った。短期間だったが、実践的に行うことで効果があった。
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> • 1学期のいじめ認知は1件だったが、2学期のいじめの認知はゼロだった。1月の学期始めに「たかせ小学校いじめ防止基本方針」の対応を再確認する。3月の学期末に本年度の対応について生徒指導委員会等で見直しを図り、来年度に向けて成果と課題を整理する。 • 1学期から続いていた1階男子トイレを汚す問題が解消した。イラストによる掲示物や立ち位置を示したマークによる支援が有効だったと考える。今後も生徒指導と特別支援の2つの観点を大切にした指導を工夫していきたい。
安全指導	<ul style="list-style-type: none"> • 2学期は、大きな事故やけがもなかった。3学期も、街頭指導や学級、全体指導を通し、安全指導に努めたい。 • 走りやすい時間の見守りをプロジェクト委員会が中心になって行った。特に給食後、教室に戻る時間帯に重点を置いた。その時間帯に走る子は減ったが、引き続き廊下歩行指導を工夫していきたい。
児童活動	<ul style="list-style-type: none"> • 代表委員会やフレンドリー集会は、計画通り実施することができた。 • 大縄跳びの自主練習タイムは、週1回（水曜日と木曜日の大休憩）に設定することで、無理なく行うことができた。 • 3学期の卒業を祝う会の計画や準備は、5年生が中心になって行う。
人権教育	<ul style="list-style-type: none"> • 人権擁護委員による人権教室の開催は、いじめ問題について考える機会にもなり、よい学習となった。今回は、高学年のみの参加だったが、内容によっては、中学年の参加も検討していきたい。
教育相談	<ul style="list-style-type: none"> • 2月にふれ合い週間を設けることで、子供一人一人のがんばりや悩み等に寄り添う。また、2月に、2回目の保護者への学校生活アンケートを実施する。 • 特別支援コーディネーターや副コーディネーターが中心となり、特別支援学級や通常級の特別な支援が必要な子供への対応を組織的に取り組む。

【保健安全部会】

重点課題	重点的な取り組み
<p>★アクションプラン</p> <p>望ましい生活習慣の育成</p>	<p>○11月の「テレビ・ゲームわが家のルールチェック」の結果は、7日間で5日以上守れた子供の割合は、83.8%であった。1学期と比べると4%UPしている。しかし、3学期はこのままでは低下することが予想される。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級懇談会向けの保健だよりを作成し、各家庭への啓発を図る。 ・テレビ・ゲーム以外の楽しみを、子供たちで紹介し合う場を設ける。 <p>○達成率の思わしくない児童には、個別に本人や家庭への呼びかけを続けていく。</p>
<p>体力づくり チャレンジ 3015の活用</p> <p>大縄跳び 短縄跳び等</p>	<p>○チャレンジ3015のチェックは、来年度から毎月チェックし、各自の振り返りの機会となるようにする。</p> <p>○3学期縦割りの短縄跳び（2月7日（水）縄跳び大会予定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・縄跳び大会に向け、大縄跳びの代わりに2回短縄跳びの練習をする。 ・水曜日と木曜日の各学団でどのように取り組むか相談して実施する。 ・この期間は、大休憩の大縄跳びも短縄跳びの練習にする。 ・3月上旬に、リレーと大縄跳びの結果を合わせて優勝チームを表彰する。
<p>給食</p>	<p>○給食週間（1月24日～30日）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食や栄養についての理解を深めるようにする。 <p>○給食の量の調節</p> <ul style="list-style-type: none"> ・班リーダーが、班内の子供たちの量をうまく調節してくれたおかげで、1学期は残食が多かったが、2学期は、0.5%（市0.8%）で、市内でも残食が少ない学校になった。 ・少食、偏食の子供たちの量を、減らし過ぎないように気を付ける。（苦手なものでも半分程度食べる） <p>○座席の配慮、入力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おしゃべりが多い子供、少食、大食の子供のグループへの配慮 ・高学年の給食当番が少なくならないように、6年生がいない所に先生を入れないようにする。 ・座席の名簿は、データー入力にする。 <p>○マイエプロン導入に向けて（H31年度くらいから？）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の小学校の情報を収集する。
<p>清掃</p>	<p>○掃除の終わりの放送が入るまでは、終わらずに掃除を続ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽に合わせて振り返りをする。グループで掃除も人も慣れてくると、だんだん反省会を始めるのが早くなる傾向がある。
<p>保健</p>	<p>○インフルエンザ、ノロウイルス対策として、手洗い・うがい、大休憩・清掃時の換気、霧吹きでの加湿を行う。（全クラスに霧吹き配布）</p> <p>○学級指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝の登校時、玄関に入る前に、傘、防寒着、長靴などの雪を落としてから玄関に入る。 ・雪遊び後、玄関の外でしっかり雪を落とす。（ジャンパー、長靴） ・履き替え用の靴下とナイロン袋を、ランドセルに入れておくことを勧める。 <p>☆下足棚の床下に敷く、マットを準備できないか。（今まで下足入れに雑巾）</p> <p>☆冬季用の防寒着を干す物干し台を準備できないか。（雨具掛け以外で干す場所がないので、内側も濡れることがある。）</p>

(3) 3学期の反省を踏まえた次年度の重点事項

H30. 3. 14

【教務部会】

重点課題	重点的な取り組み
<p>★アクションプラン</p> <p>「学習習慣チェック」達成90%</p>	<p>○「学習習慣チェック」における家庭学習の取組は、3学期の評価が95%となった。(1学期90%、2学期94%)</p> <p>○家庭学習番付の掲載者は185名。横綱昇進者(現在39名)や、番付掲載者の多い学級についてランチルームで紹介し、目当てや達成感をもたせている。また、パワーアップノート(Pノート)の参考となる取組について、各学年が2月号の学級便りで紹介した。</p> <p>○今後も家庭学習番付を引き続き活用し、家庭学習習慣の定着を目指す。学年便りによるノートの紹介は7月頃にする。Pノート展の開催。</p> <p>○冊数を増やすことばかりにとられる子供も見受けられる。自分のペースでよいこと、それぞれのページをしっかりと書くことを呼びかけていきたい。</p>
<p>教育課程</p>	<p>○「書く」活動を充実させていきたい。朝活動に全校一斉に作文の時間を設けることも考えられる。</p> <p>○今年度並みの教科担任制を進めていく。各教員の特性を生かすとともに、多くの教員の目で各クラスを見るという生徒指導上の面も考慮する。</p> <p>○学級による指導方法やノートの取り方を統一し、偏りのないようにする。</p>
<p>学習指導計画</p>	<p>○持ち物については「たかせ小ガイド」を参考に、全校で指導を統一する。(シャープペンシルの使用及び持ち込みなど)今年度末にある程度方針を決め、保護者に知らせる。(合わせて、Pノートの冊数の扱いについても)</p> <p>○週時程は学習環境を考慮する。1つの机に2名は厳しい。</p>
<p>道徳教育</p>	<p>○年間指導計画を見直し、教科との関連を図る。</p>
<p>キャリア教育</p>	<p>○挨拶、敬語等社会で人に関わるときのマナー等について学ぶ機会にする。</p>
<p>情報教育</p>	<p>○3年生はローマ字の練習とともにローマ字入力に慣れさせる。</p> <p>○ネットトラブルやサイバー犯罪などに関する講話を依頼する。</p>
<p>図書館教育</p>	<p>○学級文庫の入れ替えについて…司書教諭のおられるときに、曜日ごとに低、中、高と決め、入れ替えを手伝ってもらう。返却は各学級です。</p>
<p>英会話科 国際理解教育</p>	<p>○ハッピーイングリッシュの時間は、年度初めに、アメリカの文化や生活について質問するように、全校一斉に指導する時間を取る。(掲示する)</p> <p>○ALTからテーマを決めて話していただく日も設定する。月1回程度。</p>
<p>特別支援教育</p>	<p>○校内委員会で支援を要する子供について理解することができた。来年度は年に5回の開催とする。さらに、夏季休業中に事例研修会を開催することも考えられる。</p> <p>○どういう特徴をもった子供がいるのか共通理解し、それぞれの子供に必要な支援や合理的配慮を検討する内容の校内委員会にする必要がある。</p>
<p>学習環境</p>	<p>○学校全体で取り組みたい最低限の学習規律や話型については、掲示物を利用し、教室に位置付ける。</p> <p>○教室のプロジェクターの中に傷んできているものがある。年度末にICT機器について調子の悪いところを報告してもらい、修理及び交換する。</p>
<p>研修</p>	<p>○今年度は多くの講師を招聘し、指導講話をいただくことで充実した研修ができた。時数や自習時間の問題もあるため、来年度は部会でできるものは部会で行い、講師招聘も回数を見直す。紀要は部会ごとに点検する。</p> <p>○3学期に行ったエンカウンター講話の講義もよかった。次年度はもっと早い時期に実施する。</p> <p>○つなぎ言葉カードを、話し方や作文で活用する。</p>

【生徒指導部会】

重点課題	重点的な取り組み
★アクションプラン	<ul style="list-style-type: none"> 「あったかアクション」への意識をより高めるために、3学期は「あったかポスト」を設置した。各学年で見つけた「あったかアクション」をカードに書いてポストに入れてもらうことにした。プロジェクト委員会がポストからカードを回収し、給食時に放送したり、一階廊下に掲示したりして全校児童に伝えることにより、「あったかアクション」への関心を高めることにつながったと思う。来年度は、「あったか言葉」と「あったかアクション」を年度当初から、並行して取り組んでいく工夫が必要である。
挨拶	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト委員会による挨拶運動の中で、「挨拶名人」や「月間の挨拶MVP」を選び、職員室前に工夫して掲示した。また、総合的な学習と関連して、4年生等が継続して挨拶ボランティアを行ってくれた。2学期よりも大きな声で挨拶をする姿が多く見られるようになってきている。課題としては、挨拶に積極的な子供と消極的な子供の二極化が見られるので、来年度に向け、改善を図ってきたい。
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> 不登校だった5年女子の子供が、3月2日、5日、7日、9日と1日おきに休養をとりながら登校することができた。担任を中心とし、スクールカウンセラーとも連携を図りながら、今後も本人に無理がないように、登校をサポートしていく必要がある。 3学期は、いじめの認知件数が1件、また、いじめにつながる言動が見られた学年もあった。すぐに小委員会（いじめ対策委員会）を開き、対策について検討したことで、関係児童や保護者、その他の子供たちに迅速で適切な指導を行うことができた。認知したいじめについては、今後3ヶ月間は、様子を見守る必要がある。
安全指導	<ul style="list-style-type: none"> 3学期も、大きな事故やけががなかった。しかし、冬期期間のため校内で過ごす時間が多く、廊下を走る子がやや目立った。今後も学級、全体指導を通し、安全指導に努めたい。 大雪のため、集団下校や安全な登下校について、適宜全体指導を行った。また、多くの子供たちや先生方の協力のおかげで、スムーズに除雪を行い、通路等を確保することができた。
児童活動	<ul style="list-style-type: none"> 卒業を祝う会に向け、5年生が中心となって計画や準備に取り組んでくれた。卒業生と在校生が互いに感謝の気持ちを伝え合う心温まる卒業を祝う会になった。
人権教育	<ul style="list-style-type: none"> アクションプラン参照
教育相談	<ul style="list-style-type: none"> 2月のふれ合い週間は、担任が子供一人一人のがんばりや悩み等に寄り添い、理解する機会となった。また、2月に、2回目の保護者への学校生活アンケートを実施したが、11月よりも保護者からの相談は少なかった。保護者との情報交換の機会を増やすことが、学校との信頼関係を育むことにつながったと考える。 特別支援コーディネーターや副コーディネーターが中心となり、今後も特別支援学級や通常級の特別な支援が必要な子供への対応を、組織的に取り組んでいく必要がある。

【保健安全部会】

重点課題	重点的な取り組み
<p>★アクションプラン</p> <p>望ましい生活習慣の育成</p>	<p>○3学期「テレビ・ゲームわが家のルール」チェックの結果は、守れた子供の割合は、92%であり、目標の85%を上回った。学級懇談会による保護者への啓発や教師の子供への積極的な指導により、児童の頑張りがどの学年にも見られた。これからは、チェック週間を問わず、良い習慣となるよう指導することが必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・0（ゼロ）の付く日をノーゲームデーとして取り組んだらどうか。 ・毎週月曜日に実施している「早寝、健康生活調べ」は、子供の生活実態を知り、指導に生かすことができる。家庭と連携しながら健康な生活への意識を高める工夫が必要である。
<p>体力づくり チャレンジ 3015の活用</p> <p>大縄跳び 短縄跳び等</p>	<p>○チャレンジ3015の達成率は、昨年度は81.0%であったが、今年度は89.9%であった。昨年度より、9ポイント弱の伸びであった。来年度は90%を目指したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジ3015の達成率を高めるために、3015の掲示コーナーを設置し、自分の頑張りが見えるようにする。また、記録の色塗りの時間を確保する工夫もしていくことが大切である。 ・悪天候で木曜日の全校リレーが中止になった場合、翌日を予備日にし、その日も雨天の場合や、行事が入っているときは「なし」を来年度も継続する。 ・全校リレーを運動会の種目から外してはどうか。
<p>給食</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・配膳担当の先生は、おかずをできるだけグループで配りきれないように指導する。食缶におかずが残った場合は、児童、先生が配る。当番は4グループへ残ったおかずを持って行く前に、担当の先生に確認する。（特に高学年は、時間に遅れないように指導者が配慮する。） ・盛り付けも上手になってきたが、4月に学年が進むと慣れるまで根気よく指導する必要がある。 ・4月から2年生以上は、マイエプロンを導入するので、学校より保護者宛てに案内文を出していただく。
<p>清掃</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・早く終わっても挨拶をせず、音楽が終わるまでは、きれいに掃除をすることを徹底する。（特に高学年の意識が大切である。） ・どの学年もほうきの使い方が身に付いていないようである。4月には、ほうきの使い方指導や掃除場所に適した掃除の仕方を教える必要がある。加えて、毎日の清掃指導で指導する。（学級指導や掃除計画会のときなどにも） ・ワックスがけの前にワックスの在庫確認をする。今年度は、使用量がやや多すぎたようであり、薄く塗る塗り方を工夫する。 ・廊下・階段のワックス塗布も専用モップで一斉に塗れるように専用モップの枚数を増やしてもらえないか。 ・朝のゴミ出しが大変である。木曜日のゴミ出しの際は、水曜日の下校時に委員会の児童が出せるようにできないか。 ・ゴミ置き場を検討してもらいたい。（階段下でない所に）
<p>保健</p>	<p>○インフルエンザが流行したが、手洗い・うがい、マスクの着用、校内での過ごし方、教室給食などの対応で、大きな拡大を防ぐことができた。</p> <p>○児童玄関の下足前のマットが全面に敷かれ、砂等が校舎内へ入るのを防ぐことができた。また、安全性も高まった。</p> <p>○大きなけががなくよかった。危険を予測し、早めの指導を続ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1・2階の男子トイレのトイレトーパーの詰まりがよくあった。詰まったときは、教師にすぐ伝える。また、トイレの使用の仕方について新学期に必ず指導する。

(4) 今年度の成果と次年度に向けた課題

H.30/3/20

○成果 △課題

◆学校経営について

①教職員の協働体制づくり（内に関われた学校づくり）

○日頃から様々な取組の成果を認め合ったり、課題を共有して共に取り組んだりするなど、校務の充実を通して協働関係を強めた。

○校務のスリム化を図るとともに、行事などの内容や実施時期等についても見直し、学校パワーアップを推進した。

△学校が組織として動くために、確実な「報告・連絡・相談・確認」を大事にしていく必要がある。

また、活力ある学校をつくりには、教職員の学校経営への参画意識をさらに高める必要がある。

△教育活動の重点化をさらに図り、年間を通したPDCAの評価活動を工夫する。

②家庭・地域との信頼関係づくり（外に関われた学校づくり）

○学校経営方針をはじめ、アクションプラン、年間行事予定、家庭学習についての留意事項等を記載した「たかせ小ガイド2017」を作成し、保護者に配布して家庭との連携に努めた。

○各種たよりによる積極的な情報発信並びにホームページの充実は、学校の教育活動に対する理解につながり、家庭との連携の大きな柱の一つとなっている。

○学校だよりを通して「学校経営に関するアンケート結果」を家庭に公表し、学校経営についての共通理解を図ることができた。

△今後も、家庭との「ちょっとした連絡・相談」を大事にして信頼関係づくりを進めたい。

③教師の資質向上（人づくり）

○教師の仕事や授業づくり、子供や保護者との対応などについて、日頃の会話や雑談を大事にして、互いに学び合う職員室となっている。

○新学習指導要領の改訂のポイントについて、具体例を示しながら伝えるとともに、各教科ごとの解説本を揃えて閲覧できるよう環境を整え、教職員の意識改革に努めた。

④特別支援に関する校内支援体制の整備

○正副特支コーディネーターを軸に、支援を要する児童へのサポート体制を強化した。

△来年度は、特別な支援を必要とする児童が増えることが見込まれることから、正副特支コーディネーターを軸に、学級担任、通級担当者、スタディ・メイトとの連携を十分に図るようにする。

◆学習指導について

①分かる・できる授業の取り組み

○学力向上市町村教育委員会プラン拠点校の指定を受けたことを契機に研修体制や内容の充実を図った。特に若手教員の授業力向上を目指し、外部から6名の講師を招聘して全体研修を行い、成果を上げることができた。

○研修では授業の導入・展開・終末での視点を基に、before/afterを意識しながら授業を行うようにし、事前・事後研修会を通して成果と課題を明らかにしながら指導の工夫に努めた。

②学ぶ意欲の向上と授業規律の確立

○「学習習慣チェックカード」をもとに、各学級で重点項目を決めて取り組み、成果があった。

○「聞き合う力を育てる」ための3つの約束事や「話す・聞く・作業する」の区別等、全校で共通した学習規律の確立に努めることができた。

△授業での生徒指導の機能（自己肯定感を高める～「自己存在感」「共感的な人間関係」「自己決定の場」など）を生かす研修を、さらに進める必要がある。

③家庭学習の習慣化（アクションプラン2）

○各学級で家庭学習の方法を具体的に指導するとともに、各学年ごとに自主学習ノートの活用例を見本として掲示したり、家庭学習番付表を作成したりして意識を高めたことで、家庭学習のめやす時間（10分間×学年+10分）を達成した子供が昨年度と比較して増えた。

△今後、家庭学習を充実させていくには、授業の学習内容と家庭学習を効果的につなげたり、家庭学習の取組のよさを発信したりして望ましい学習習慣の定着を図りたい。

◆生徒指導について -----

①積極的な生徒指導の推進

- 子供の不安や悩みを見逃さない観察と共感的な声かけや相談活動に努めた。
(日頃のふれあい、「ふれあい週間」、「生活アンケート」他)
- 生徒指導の力量を高める校内研修会を行い、互いの考えのよさや違いを学んだ。また、日々の出来事を事例に、ミニ研修会を行った。
- 「報告・連絡・相談・確認」を徹底し、些細な情報も共有して、問題が起きた場合は組織で対応する支援体制(生徒指導小委員会他)を今後も強化していく。
- 「いじめ防止基本方針」を見直し、いのちを大切に自分の生き方を考える機会の充実や、教師自身の人権意識のさらなる向上に努めた。

②児童の温かい人間関係づくり(アクションプラン2)

- 年間を通して、児童会のプロジェクト委員会を中心に進めた「あったか言葉」や「あったかポスト」の広がりや、子供たちの温かい関係づくりに成果が見られた。
(「あったか言葉」の発表・掲示、「あったかポスト」「あったか宅急便」他)
 - 学級においても、「きらきらを見つけて伝えよう」「なかよしメッセージ」など、帰りの会などで互いを認め合う温かい取り組みを進めた。
- △特別支援教育コーディネーターを中心に、今後も特別支援学級の児童や通常級において特別な支援が必要な児童への対応の在り方を検討し、組織的に取り組んでいく必要がある。

◆健康安全について -----

①健康指導(アクションプラン3)

- 「早寝・健康生活調べ」や「とやまゲンキッズ作戦」の結果を保健だよりなどを通して知らせることで、家庭と状況を共有し、連携しながら健康な生活習慣づくりを推進することができた。
- 望ましい生活習慣の育成を目指して取り組んだ「テレビ・ゲームわが家のルール」チェックの結果は、3学期の積極的な指導により92%となり、目標の85%を達成できた。各家庭で子供の生活リズムやゲームのルールを見直す機会となった。

②体力づくりの日常化

- 「みんなでチャレンジ3015」等を活用して、始業前の自主マラソン、週一回の全校リレー(冬期は大縄跳び)、大休憩時のマラソン(毎週水曜日)など、子供たちは目当てをもって取り組むことができた。達成率は89.9%で、昨年度の81%を大きく上回ることができた。来年度は、90%を目指したい。
- △体力テストの結果をもとに、握力や長座体前屈など、各学年や全学年共通の課題などを確認して、日頃の体育の授業等を通じた活動の工夫が必要である。

③安全指導

- 大雪による影響を受け、集団下校や安全な登下校について適宜全体指導を行った。また、教職員及び高学年児童が協力して児童玄関等の除雪を行い、通学路を確保することができた。
 - 防犯パトロール隊や学童保育指導員(たかせキッズ)など、地域の方との連携を図り、児童の安全確保に努めた。
- △事故やケガの未然防止、発生したときの対処など、学校の危機管理体制を整備するとともに、児童及び教職員の危機管理意識を高める必要がある。